

今月のフレnds



▲旗を振って応援するなど、愛嬌のある動きをするコマ回しロボット。この他にも、随所に小ネタが見られます。



▲日本企業の海外工場で使われることも多いシリックスの制御システム。アジア各国を中心に輸出実績があります。



▲力強く書かれた「FA道一貫」の文字は、竹ノ内さんの手によるものです。



▲「小回りが利き、スピードと利便性を備えたシリックス。お客様からは、その様な高い評価をいただいております」と、竹ノ内さん。



株式会社シリックス
代表取締役社長 竹ノ内 健二さん

不可能にチャレンジする情熱を持ち、オンリーワン企業へ

日本最大級の異業種交流展示会メッセナゴヤ2014が、いよいよ11月5日〜8日に開催されます。会場には、愛知・名古屋に留まらず、全国から多数のきらりと光る強みを持った企業が集結します。今回ご紹介する株式会社シリックスも、そんな会社の1つ。FA (Factory Automation) に特化した経営で、日本のモノづくりを支えています。代表取締役社長の竹ノ内さんにお話を伺いました。

「FA道一貫」を掲げ

弊社の強みは、「FA道一貫」のコーポレートスローガンを掲げ、自動機設備導入に関わる機械・電気・ソフトの設計製作を、自社で一貫してできることにあります。特に、国内製のPLCであれば新旧問わず全ての商品に対応しており、あらゆる自動制御の設計を行なうことが可能です。

現場を知りつくすシリックスとして、高品質な設備を迅速かつ安価にお客様へご提供して参りました。

※Programmable Logic Controllerの略
あらかじめ定められているプログラムに従い、逐次制御を行う制御装置のこと

メッセナゴヤをきっかけとして生まれたテレビ出演

その弊社の技術・ノウハウの結晶が、昨年のメッセナゴヤに展示したコマ回しロボットです。人とコマ回し対決を行なう遊び心に溢れたこのロボットは、幅広い分野に精通した弊社の技術力を分かりやすく伝えることができ、多くの

来場者からご好評をいただきました。

またこのロボットは、メッセナゴヤに来場していたマスコミ関係者の目に留まり、NHK番組「超絶凄ワザ！」に改良型が出演することにもつながったのです。

メッセナゴヤへの出展が、思わぬPRの機会へと発展しました。

自社ブランド構築のために

弊社が営む電気工事業は、建設業に属していることから、元請を意識した経営を長年に亘り続けてきました。

しかし、更なる会社の発展には、自社ブランドの製品が必要であると考え、3年前にメカトロ事業部を発足。現在は、エンドユーザー様のご意見を伺いながら製品開発に注力しております。

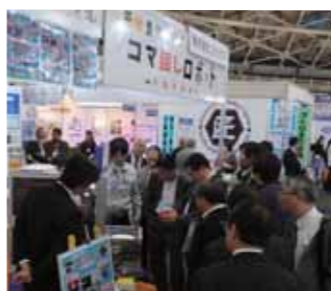
さらに、地元企業と連携して共同受注や研究を行なうなど、その挑戦は層広がつきました。この様な企業活動を通じて、お客様から強く強く必要とされる会社を目指し、今後も努力して参ります。



▲三重県内企業で構成された「メカトロチームみえ」の一員として、お客様へ最適なソリューションを提供すべく取り組んでおります。



▲NHKの番組撮影の様子。コマ回しの台座は、完全な水平でないともコマが滑り落ちてしまいます。細かなところにも、培ってきた技術が活かされているのです。



▲コマ回しロボットをメッセナゴヤに出展した際には、対決を見るために人垣ができるほどでした。



▲様々な大きさや重さ、形のコマがあり、対戦を盛り上げる工夫が凝らしてあります。

今月の表紙説明

竹ノ内さんと一緒に写っているのは、アルジュリアに出張した際にご購入された「砂漠のバラ」と呼ばれる30cm程の珍しい石です。昨今は海外出張される社員の方が多く、当時の経験に基づいたアドバイスをされているとのことでした。

Company Data 【会社概要】

設立 昭和58年

所在地 三重県四日市市小古曾東2-9-40

TEL 059-345-3211

URL <http://www.serix.co.jp/index.html>

事業内容 電気設備工事、制御システム設計、ソフト開発、メカトロ設計